

PPE 着脱手順書の利用方法、および
エボラウイルス病（エボラ出血熱）に対する PPE 着脱の実際と考え方（2015.1ver3）
北九州市立八幡病院 伊藤重彦

この手順書は、エボラウイルス病の感染者に濃厚接触する際の PPE による感染防御の考え方を具体的に示したものです。あくまで最大限の感染防御を行うための考え方を、詳細かつ具体的に再現した手順書（確実に濃厚接触する職種バージョン）です。実際の接触リスクやエリア汚染レベル・PPE 汚染レベルに合わせて、手順の追加・変更・簡略化をお願いします。

（PPE の考え方）

1. 感染経路：接触感染≫飛沫感染

2. 接触リスク

- (1) 感染者と直接接触、あるいは接触する可能性が高い
※第一種感染症指定医療機関職員、保健所職員など
- (2) 1m 以上離れた状況で対面する（突発的に接触する可能性がある）
※救急要請により出動する消防職員など
- (3) 感染者と接触することはない（感染者がいない場所での活動）
※医療スタッフの PPE 着脱時の監視者など

なお、一般病院や診療所の医療職員がどのリスクに入るかは不確定

3. エリアの汚染レベル

エリア汚染度から、ホットゾーン、ウオームゾーン、コールドゾーンに分類

- (1) ホットゾーン
 - ・環境中のウイルスが高い確率で存在（ウイルス量は多い）
 - ・床汚染が高いエリア（長靴、アウターシューカバーを外すエリア）
- (2) ウオームゾーン
 - ・環境中のウイルスが低い確率で存在（ウイルス量は少ない）
 - ・床汚染が低いエリア

※汚染度の高いアウターグローブ、ガウンは着用している段階なので、ウオームゾーン環境表面に、ガウン、アウターグローブを接触させないように注意する
- (3) コールドゾーン
 - ・環境にウイルスが存在しないエリア、防護不要のエリア
 - ・医療資機材（PPE セット、消毒薬等）を置いておけるエリア
 - ・PPE 着脱監視者などが位置するエリア

4. PPE の汚染レベル

PPE 汚染度から、汚染レベル高い、中間、低いに分類

- (1) 汚染レベル高い
 - ・アウターグローブ、長靴（アウターシューカバー）
 - ・ガウン・フェースシールド（とくに前面）
- (2) 汚染レベル中間
 - ・タイベックスーツ（とくにフード部分）、インナーグローブ、インナーシューカバー
- (3) 汚染レベル低い
 - ・露出皮膚（素手、髪、頭、首回り）、職員ユニフォーム、ゴーグル、N95 マスク